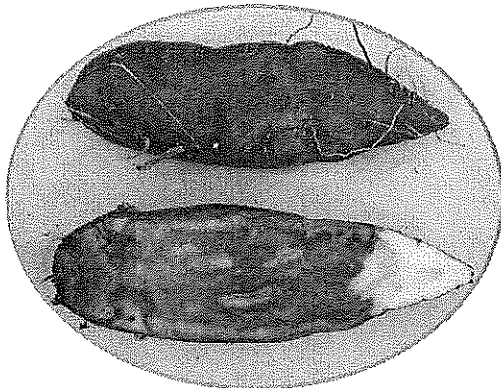


サツマイモ基腐病 まん延防止のための 栽培前の対策について

九州を中心に大きな被害を出しているサツマイモ基腐病が、県内で令和3年に初めて確認されました。

本病のまん延や次作の被害等を抑えるために、サツマイモを栽培する前に以下の対策を徹底しましょう。



▲感染し腐敗したイモ（下：断面）

サツマイモ基腐病とは

- ・病原菌 糸状菌の一種(カビ)
- ・生育温度 15～35℃(適温28～30度)
- ・寄宿主植物 ヒルガオ科(主にサツマイモ)
- ・症状 感染した株は茎の地際部が黒変～黒褐色に変色し、茎葉は黄色や紫色に変色して、症状が進むと壊死します。イモでは主に、なり首側(茎のつけ根側)から褐色～暗褐色に腐敗します。

サツマイモ栽培前の重要な対策

サツマイモ基腐病を「持ち込まない」対策

- 健全な種イモや苗の確保
- 種イモ及び苗の消毒

本病がまん延している地域の種イモや苗の使用は慎重に検討する。
種イモや苗は腐敗等が無いか確認し、必ず適切に消毒する。

※ 詳しくは裏面の「栽培前の対策方法」を参照してください。

サツマイモ基腐病を「増やさない」対策

- ほ場の排水対策の徹底



ほ場周囲等に排水溝を設置し、ほ場外への排水を促す。

サツマイモ基腐病を「残さない」対策

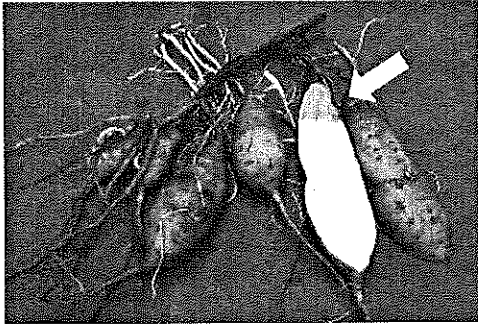
- 適切な土壌消毒



使用基準を遵守し、必ずビニール等で被覆して行う。

栽培前の対策方法

種イモ選別のやり方

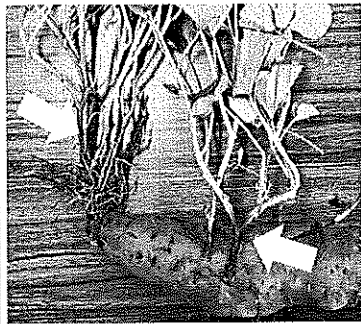


- ① 健全なほ場から採取された種イモか確認する。
- ② 傷や腐敗、疑わしい症状がある種イモは取り除く。

種イモは腐敗し、なり首側(茎のつけ根側)から褐色～暗褐色に腐敗する

苗床での感染株の見分け方

感染が疑われる苗を見つけた場合は取り除いてください。

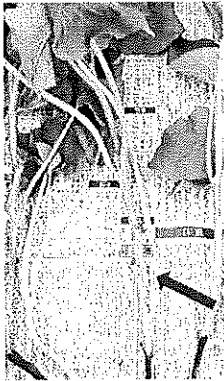


苗の基部は黒く変色する。

葉は赤又は黄に変色する。
地際部が黒変する。



苗消毒のやり方



- ① 苗は株の地際から5 cm以上切り上げて採取する。
- ② ベンレート水和剤またはベンレートT水和剤20用いて、採苗当日に必ず苗消毒を行う。
- ③ 採苗時のハサミはこまめに消毒する。

切断の目安は変色部から5cm上

〈苗消毒の薬剤〉

(R4年2月時点)

※ 農業を使用する際は、必ず最新の登録内容を農業メーカーのホームページ等でよく確認してください。

薬剤名	対象病害	希釈倍率	使用方法	使用時期	使用回数
ベンレート水和剤	基腐病	500～1000倍	30分間基部浸漬	植付前	1回
ベンレートT水和剤20	基腐病	200倍	30分間さし苗基部浸漬	植付前	

本病に係る相談については、以下のいずれか、もしくはお近くの県農林振興センターに御連絡ください。

埼玉県農産物安全課 電話:048-830-4053
埼玉県病害虫防除所 電話:048-539-0661

